

# 富士市立中央病院 病院だより

第 19 号

発行：平成 25 年 1 月 20 日

〒417-8567 富士市高島町50

電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077

E-mail：byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

Fuji City General Hospital

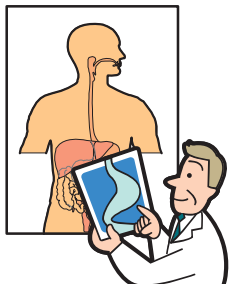
## 消化器内科・神経内科の 医師が4月より常勤になります。



現在、消化器内科・神経内科は非常勤医師により外来診療を行っておりますが、平成25年4月より消化器内科医師6名、神経内科医師1名が常勤になります。

医師が常勤になり医療スタッフが充実しますので、外来診療、入院診療がより一層強化されます。

### 消化器内科

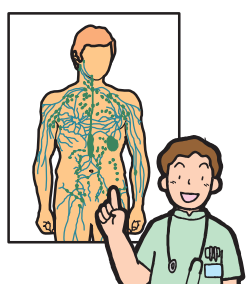


消化器内科では、上部・下部消化管、肝臓、胆道及び膵臓疾患を中心に、消化器病全般の診療を行います。さらに、消化器内科の専門性に加え、他領域

の疾患の合併にも対応できるよう、内科全般の診療も行います。また、上部・下部消化管の内視鏡検査をはじめとして、さまざまな日常検査を実施します。

内視鏡検査では、必要に応じて静脈麻酔を使用して患者さんの苦痛をできる限り軽減するとともに、確実な内視鏡診断から適切な内視鏡治療・外科手術への移行を心がけます。

### 神経内科



神経内科では、脳血管障害、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、重症筋無力症、多発性筋炎、アルツハイマー病、末梢神経障害や本態性振戦など

神経難病を含めて多岐にわたる診療を行います。

脳梗塞や脳出血などの脳血管障害においては、頭部MRI検査などを迅速に行い最適な治療法を選択し、リハビリテーション科と連携して早期から機能回復訓練を行い、患者さんの社会復帰を目標としています。

また、発症4時間半以内の脳梗塞に対しては血栓溶解療法も行います。

# 平成25年6月1日より院外処方を実施します!

「院外処方」とは、外来に受診をされた患者さんに「**院外処方せん**」をお渡しし、中央病院の中ではなく、**院外の保険薬局**でお薬を受け取っていただく仕組みです。

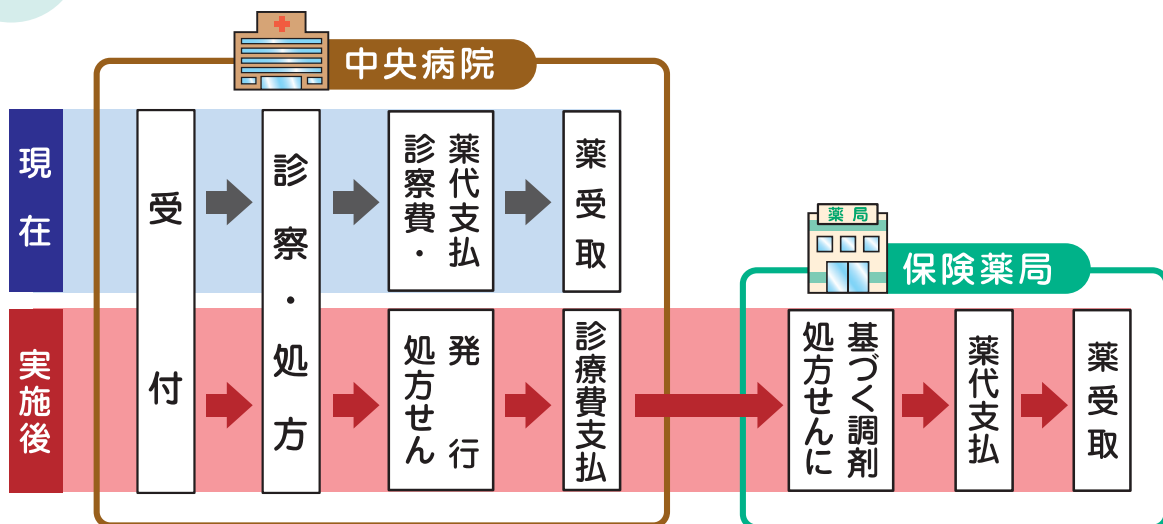
中央病院では、薬剤師による入院患者さんに対する薬の飲み方の指導や、病棟内での薬の配合や適切な管理を充実するなど、入院診療の体制を強化するために「院外処方」を実施いたします。

皆さまのご理解とご協力を下さいますよう、よろしくお願いいたします。

## 院外処方実施による患者さんへの影響

- 「かかりつけ薬局」を持つ事で、きめ細やかな薬歴管理・服薬指導を受けられます。
- 病院での薬の調剤待ち時間が無くなります。
- 都合のよい場所にある薬局で、都合のよい時間に薬を受け取ることができます(処方日を含めて4日以内)。
- ジェネリック医薬品を選択しやすくなります。
- 自己負担額が増減する場合があります。
- 薬を受け取るために院外の保険薬局へ行く手間が発生します。

## 院外処方開始後の「受付」から「薬受取」までの流れ



## 当院から患者さんへのお願い ～「かかりつけ薬局」をお持ちください～

ご自分で都合のよい場所にある保険薬局を「かかりつけ薬局」として決めておくと、薬の重複や飲み合わせのチェックなど、よりきめ細かな薬歴管理・服薬指導が受けられます。院外処方が実施される前に、ご都合の良い保険薬局へ当院の薬剤情報をお持ちになり、薬剤師にご相談ください。

お問合せ

病院経営課

経営企画担当

電話:52-1131 (内線:2221)

# 富士市立中央病院外来担当医表

平成25年1月1日現在

診療科 《部長名》		月	火	水	木	金	備考
内科 (代謝一般内科)《藤井常宏》 (呼吸器内科)《木村哲夫》 (腎臓内科)《笠井健司》 (肝臓病)	初診	山城	岸田	三上	高橋	宇田川	火曜の奇数週は浅野医師、偶数週は原医師 水曜の谷口医師は、午後予約のみ 水曜の奇数週は岸田医師、偶数週は高橋医師 水曜の鳥巢医師、木曜の平野医師は午前予約のみ
		藤井	浅野/原	谷口	藤井	山城	
		比企		比企	比企	比企	
		木村	木村	木村	木村	三上	
		宇田川	笠井	岸田/高橋	宇田川	笠井	
		梶原	馬場	鳥巢	平野		
神経内科		河野	森田	高木	(休診)	森田	《初診は完全紹介状制》 月曜・金曜は午後2時～4時、水曜は午前9時～11時
循環器科 (循環器内科)《三川秀文》 (心臓血管外科)《田中 圭》	初診	阪本	(交替制)		山崎	富永/阿部	金曜の奇数週は富永医師、偶数週は阿部医師 火曜の初診受付は、午前10時まで
		山崎	三川	三川	三川	三川	
		田中			阿部	阪本	
小児科《瀬川孝昭》		千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	
		瀬川	瀬川	瀬川	瀬川	瀬川	
		秋山	秋山	秋山	秋山	秋山	
外科《梶本徹也》	初診	良元	谷島	兼平	共田	北村	※は下肢静脈瘤・ヘルニア外来(午後のみ) 木曜日の森川医師は、偶数週の午後2時～4時 診察は午前9時～12時、午後1時～2時半
		谷島	兼平	梶本	共田	良元	
		共田	小山	共田	北村	谷島	
		石山 (交替制)※	良元	柏木	小山	柏木	
	女性専用の外来	梶本					
整形外科《田邊登崇》		田邊	永井	(交替制)	永井	田邊	《初診は完全紹介状制》 水曜は初診のみ(紹介状制) 水曜の初診受付は、午前8時半から午前10時
		土田	山元		山元	土田	
			飯田		飯田		
脳神経外科《諸岡 暁》		野田	秋山	(交替制)	佐々木	諸岡	水曜は初診のみ 火曜の諸岡医師、木曜の野田医師は再診のみ
形成外科《平川正彦》		平川	(休診)	三宅	平川	三宅	
泌尿器科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	奇数週は鈴木医師、偶数週は本多医師。午後1時半～3時
		小野寺					
		女性専用の外来		鈴木/本田			
産婦人科《窪田尚弘》	初診	窪田	中島	鈴木	小田	矢田	《婦人科初診は完全紹介状制》 ←婦人科再診 ←妊婦健診 ←不妊症外来 診察は午前8時半～9時半 ←婦人科 診察は午後1時半～2時半
		矢田	小田	伊藤	窪田	鈴木	
		小田	矢田	窪田	鈴木	伊藤	
		女性専用の外来	鈴木/窪田	鈴木/窪田	鈴木/窪田	鈴木/窪田	
眼科《藤谷暢子》		藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	水曜は紹介状初診及び予約のみ
		杉山	杉山		杉山	杉山	
耳鼻咽喉科《高柳博久》		石垣	高柳	(交替制)	石垣	(交替制)	金曜は初診のみ
		森本	(交替制)	森本	高柳		
皮膚科《津嶋友央》		津嶋	津嶋	津嶋/青島	津嶋	津嶋	水曜の津嶋医師は奇数週のみ 水曜の青島医師は偶数週のみ
		青島	青島		青島	青島	
放射線科		成尾	萬/東条	清水/藤井	(交替制)	成田/松井	←診断外来《初診は完全紹介予約制》
		竹永	竹永	竹永	竹永	竹永	
歯科口腔外科《勝山直彦》		勝山	勝山	勝山	勝山	勝山	川瀬医師・渡邊医師は、火曜が第2・4週、木曜が第1・3週
		井出	井出	井出	井出	井出	
		永沼	永沼	永沼	永沼	永沼	
			川瀬/渡邊		川瀬/渡邊		

※都合により、内容が変更になることがあります。

※平成25年1月から、毎週月曜に小野寺院長が外来診療(泌尿器科)を行っています。

※現在、放射線治療装置(リニアック)更新のため、放射線科の治療外来は休診しております。

## ●医師の人事異動について

退任日:平成24年12月31日 就任日:平成25年1月1日

診療科	退任医師名	就任医師名	診療科	退任医師名	就任医師名
外科	サカモト 太郎 坂本 太郎	カネヒラ マサル 兼平 卓	眼科	ワタナベ マサル 渡辺 勝	スギヤマ アツシ 杉山 敦
	クマガイ ユウ 熊谷 祐	キタムラ ヒロアキ 北村 博顕	整形外科	ムラカミ ヒロシ 村上 宏史	ヤマモト シュン 山元 駿
泌尿器科	ヤナギノフミ 柳澤 孝文	オノハヤシ コロネ 大林 広輝	歯科口腔外科	ワタナベ ヒロシ 渡邊 紘士	

## 各科紹介

## 病理科

皆さま、こんにちは、病理科です。でも、普段は患者さんと接する機会はありませんので、ハジメマシテの方が良いかもしれません。

朝など特に賑やかな臨床検査科のすぐ近くに病理科はあり、その扉を開けるとそこに静寂があります。手前から診断室、検体受付、染色室、薄切室、切り出し室、電子顕微鏡室。別世界と思われる中、ほぼ一日中、細胞・組織診断が行われ、人々の病名が次々と決まっています。Aさんは胃潰瘍、Bさんは胃がん、Cさんは乳がんなど、要するに病理科は病名の最終決定機関と言えます、三権分立(司法、行政、立法)のちょうど司法にあたり、病名は病理科が決める、決して誤診断が許されない聖域です。

当院病理科で特に自慢するような機械設備はありません。しかし、病理科の存在自体に大きな意義があり、患者さんはより質の高い医療を受ける事ができます。例えば、術中迅速診断は、組織を凍結させ、10分

程度で病理診断が可能で、がんの広がり、転移の有無などが手術中にわかり、手術の進行の大きな指標になります。院内に病理科があれば、より早い正確な診断、より早い的確な治療開始、そしてより早い退院が可能になります。

これからも皆さまと直接お目にかかる事はないかと思われませんが、最後に一言、皆さまは病理科が充実している病院を選ばれる事をお薦めいたします。



## 所属紹介 ～在宅支援グループ～

在宅支援グループは、総合相談センター、通院治療室、訪問看護・退院支援室で成り立っています。スタッフは、副看護長1名・がん化学療法看護認定看護師1名・訪問看護認定看護師1名・看護師5名・医療補助1名です。

総合相談センターでは、患者さんにご家族が入院・外来を問わず、さまざまな不安や疑問に対して、看護師の専門性を活かして相談にのっています。

通院治療室は、消化器・血液疾患を中心に月140件前後の外来化学療法を行っています。昨年11月には別館2階に移設しました。認定看護師がリーダーとなり、快適な環境で安全に治療が行えるよう、環境の整備・副作用への対応に努め、治療開始時はわかりやすい説明を心がけています。

訪問看護・退院支援室は、退院後も安心して療養生活を送っていただくために、訪問看護と退院支援を行っています。開業医やケアマネージャーとの連携の窓口となり、退院後も在宅療養中の患者さんへ訪問看護を実施させていただくとともに、継続して治療・看護・介護が受けられるよう支援させていただいています。

私たち在宅支援グループは、快適で安全な治療に臨める環境の充実や、自宅における看護サービスの提供を行うとともに、各種相談にも対応しています。「より身近に、よりの確に、より優しい看護を提供します」をモットーに、一人ひとりを大切にしたい看護を提供していきたいと思えます。





# おしらせ

## 【新たに2名の認定看護師が誕生しました】

### ●訪問看護認定看護師の紹介



訪問看護認定看護師(日本看護協会認定)の村松和歩です。訪問看護は、病気や障害を持った人が「住み慣れた家」で、その人がその人らしく生活できるよう看護ケアを提供するサービス

です。当院に受診中の方のご自宅に訪問し、病状や療養環境を看護の専門的な目で見守ります。

ケースマネジメントや看護理論に基づく看護過程を実践し、適切な判断と看護ケアで、利用者が安心して安全に在宅での療養生活が送れるよう支援します。

### ●慢性呼吸器疾患看護認定看護師の紹介



慢性呼吸器疾患看護認定看護師(日本看護協会認定)の加藤美奈子です。本年度、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の資格を取得し、昨年9月より活動しています。

慢性呼吸器疾患を患う方は、まず自分の病気を知り生活の中で起こる症状に対処できる事が大切とさ

れます。疾患があっても、自分らしく生活していくために、共に考え、解決策を見出せるよう、お手伝いをしていきたいと思っております。

※慢性呼吸器疾患とは、COPD(慢性閉塞性肺疾患)・間質性肺炎・気管支喘息・気管支拡張症・肺結核後遺症・非結核性抗酸菌症・肺線維症・肺炎・新型インフルエンザなど呼吸器感染症、睡眠呼吸障害、神経・筋疾患による呼吸障害を含むものとされています。(肺腫瘍を除く)

## 【DMAT(災害派遣医療チーム)の結成と災害対策訓練を行いました】

富士市立中央病院は、県より災害拠点病院に指定されており、災害時、富士地域医療圏の中心的な役割を担うことを求められております。当院では、東海地震や大規模災害への備えとして、災害対策事業に力を入れており、今回は、その中から2つの話題について紹介させていただきます。



まず、病院外へ貢献できる災害対策の一環として、DMATを結成しました。DMATとは災害急性期(発災後約48時間内)に活動する専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームであり、被災地の要請に応じて現場に急行し、病院支援や広域搬送等を行います。

当院から選抜された医師2名、看護師2名、薬

剤師1名の計5名が、養成研修に参加し、全員が資格を取得いたしました。

次に、病院内の災害対策の一環として、災害対策訓練を実施しました。発災直後に活躍できる職員の育成を目指した訓練であり、知識をより深め、個々の職員に求められる役割の再認識や部門間の連携の確認等を行うことができました。

今後は、DMATを中心に、さらなる訓練の実施等、災害対策事業の拡張を図り、地域の皆さまに安心していただけるような、災害に負けない体制作りを進めてまいります。加えて、DMATの被災地派遣等、他地域への協力も視野に入れた医療支援活動についても模索してまいります。





## 総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～ 内線2046

- 看護相談(がん相談含む)・よろず相談…患者さんご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病气や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
  - 医療安全相談…受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しづらい事など、専任のリスクマネージャーがご相談に応じます。
  - 医療福祉相談(健診含む)…患者さんの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。(医療福祉相談のみ 内線2918)
- ※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。  
お気軽にお声をお掛け下さい。
- 受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:00

## その他の病院内の相談は…



- お薬相談  
月～金 8:30～17:00 相談室(お薬渡し口隣り)  
お問い合わせ:薬剤科 内線2126
- 栄養相談 ※予約制です。  
月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)  
お問い合わせ:栄養科 内線2146
- 検査に関する相談・血糖自己測定器の説明  
月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)  
お問い合わせ:臨床検査科 内線2267
- フットケア相談 糖尿病の患者さんの足のケア  
第2・第4水・木曜 13:30～15:30 内科外来(2階)  
お問い合わせ:内科外来 内線2285
- 医療放射線被ばく相談 ※予約制です。  
火・木曜日 放射線科外来(1階)  
お問い合わせ:中央放射線科 内線2153

## 各種教室のご紹介

- 患者さんご家族を対象とした各種教室を開催しています。開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせの上、お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。
- 腎臓病教室 お問い合わせ:栄養科 内線2146  
日時:毎月第3火曜日 15:00～16:00
  - ファミリークラス  
お問い合わせ:産婦人科外来 内線2337  
日時:毎月3回 13:00～15:00

## 出前講座のご紹介

- 当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。講座は全部で59メニュー、すべて無料で実施します。ぜひ、ご利用ください。
- 詳細は当院ウェブサイトまで  
<http://fujishi.jp/~byoin/>  
お問い合わせ:病院経営課 内線2221

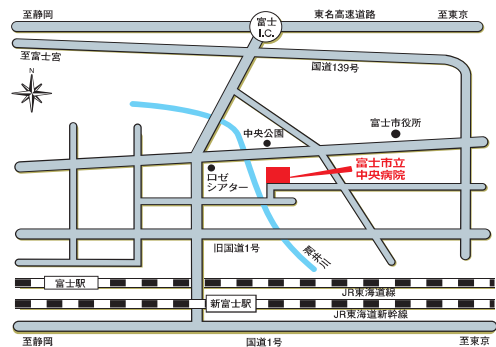
## 富士市立中央病院 Fuji City General Hospital

～平成24年度病院指針～「地域と歩む医療の推進」

〒417-8567 住所:静岡県富士市高島町50  
電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077  
E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp  
ウェブサイト:<http://fujishi.jp/~byoin/>

【アクセス】東名高速道路 富士ICより 車で10分  
東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分  
東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

○病院だよりに関するご意見ご要望は病院経営課へお願いします。  
電話:0545-52-1131 内線:2221・2222 E-mail:ch-keiei@div.city.fuji.shizuoka.jp



迅速な「聞こえ」を実現します  
お客様本位の接客姿勢と安心の貸出しシステムが目覚です。補聴器のご使用が初めての方でもご安心下さい。ご購入後の再調整も承ります。

**富士・富士宮の2店舗で対応!!**

**富士宮店** 富士宮市藤町 イオンSの富士宮東側  
富士宮補聴器センター 富士宮店  
富士宮市藤町2-25  
TEL・FAX 0544-27-5629  
営業時間 9:00～18:00  
第3日曜日定休 駐車場あり

**夫婦店(富士)** 富士市石坂 大洲駅前通り  
富士宮補聴器センター 夫婦店  
富士市石坂85-116  
TEL・FAX 0545-53-2365  
営業時間 9:00～17:00  
日・祝日定休 駐車場あり

焼肉飯店 京昌園 KEISHOEN

富士のふもとのグルメコンテスト 2年連続グランプリ受賞

個室・席・宴会のご予約受付中。お弁当のご注文承ります。  
☎0120-08-2989  
[www.k-shoen.com](http://www.k-shoen.com)  
全店年中無休  
4名様より無料送迎バス承ります。  
別館・別館ほなれ・富士みなみ店・富士宮店

焼肉弁当【牛】国産牛使用 945円(税込)  
5,250円以上のご注文で富士・富士宮市内へ配達いたします。

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。  
「病院だより 第20号(4月20日発行)」に広告を掲載しませんか。お問い合わせ:病院経営課 内線2221・2222